



「さんになん展」を開いている（右から）中野さん、中畑さん、岡田さん

蘇南高同級の絆 3 人展

昭和45年に蘇南高校を卒業した男性3人の絵画展「刻・思い さんになん展」が28日まで、上松町公民館で開かれている。3年間、同級だった大桑村野尻の中畑勝美さん（63）、塩尻市広丘吉田の中野智晃さん（63）、南木曾町読書の岡田政晴さん（63）が計41点を展示している。

（細野はるか）

現在、画家として活動する中畑さんはピエロを題材にしたアクリル画を展示した。「刻」と題した作品は、ベニヤ板にピエロや時計の歯車を描き「胸に秘める思いを抱く人や、人の思いとともに刻まれる歴史」を表現している。

昭和45年卒業生 上松で

中野さんは、高校・大学時代の静物画や、40年ぶりに筆を執ったという風景の小作品を並べた。大学

パートで描いた思い出の作品だ。岡田さんは中学校教員時代に、写生大会で生徒と一緒に描いた風景画「風越山と木曾駒ヶ岳」などを並べた。石仏を題材にした油彩画もあり「実物は風化して表情が

分らないが、制作者の思いを想像して描いた」という。中畑さんと岡田さんは元教諭で、高校卒業後はほとんど会う機会がなかったが、退職後に交流が始まり、平成25年に「ふたり展」を開いた。2人の同級生で、中畑さんと同じ美術部だった中野さんに声をかけて「さんになん展」を開いた。岡田さんは「それぞれは、人生を歩んだ3人が思い

を持って集い、今までの「刻」をうめることができるのはこの上ない喜び」と話している。午前9時～午後4時。問い合わせは中畑さん（☎090・743・9507）へ。